

いつか、必ず、羽ばたく。



植松康好(36才)



桜庭エミ(37才)



袴田和洋(40才)

A full-page photograph of a man in a warehouse. He is standing in the foreground with his arms crossed, wearing a dark long-sleeved shirt, dark trousers, a black cap, and black sneakers with white stripes. He is looking directly at the camera. The background shows a large warehouse with high shelves filled with blue and green crates. To the left, there is a metal rack holding several white, round objects. A hand truck with a blue crate is visible in the middle ground. Another person is working in the background on the right side.

勤続20年

植松康好(36才)

平成3年中学を卒業、一般就労でフジ化学入社。

入社当時は戸惑うこともあった。スタッフは他の従業員と同様に厳しく接した。
フジ化学では障がい者を特別扱いしない。一人の戦力として考えている。

20年が経った。今では現場のリーダーとなりスタッフを指導できる立場になり、
責任ある仕事を任され充実した毎日を過ごしている。



桜庭エミ (37才)

平成2年中学卒業。すぐには就職はしなかった。

最初は仕事が嫌だった。

社員たちは余分な事は一切言わずに桜庭のペースに合わせ「待った」。

いつしかフジ化学の戦力となった。

現在は NEST の就労継続支援 A 型利用者として充実した毎日を過ごしている。



袴田和洋(40才)

平成元年にフジ化学に入社。

責任感が強く自分が扱った部品の記録を全てとっていた。

仕事を覚えるのが早く、5・6年で新入社員に

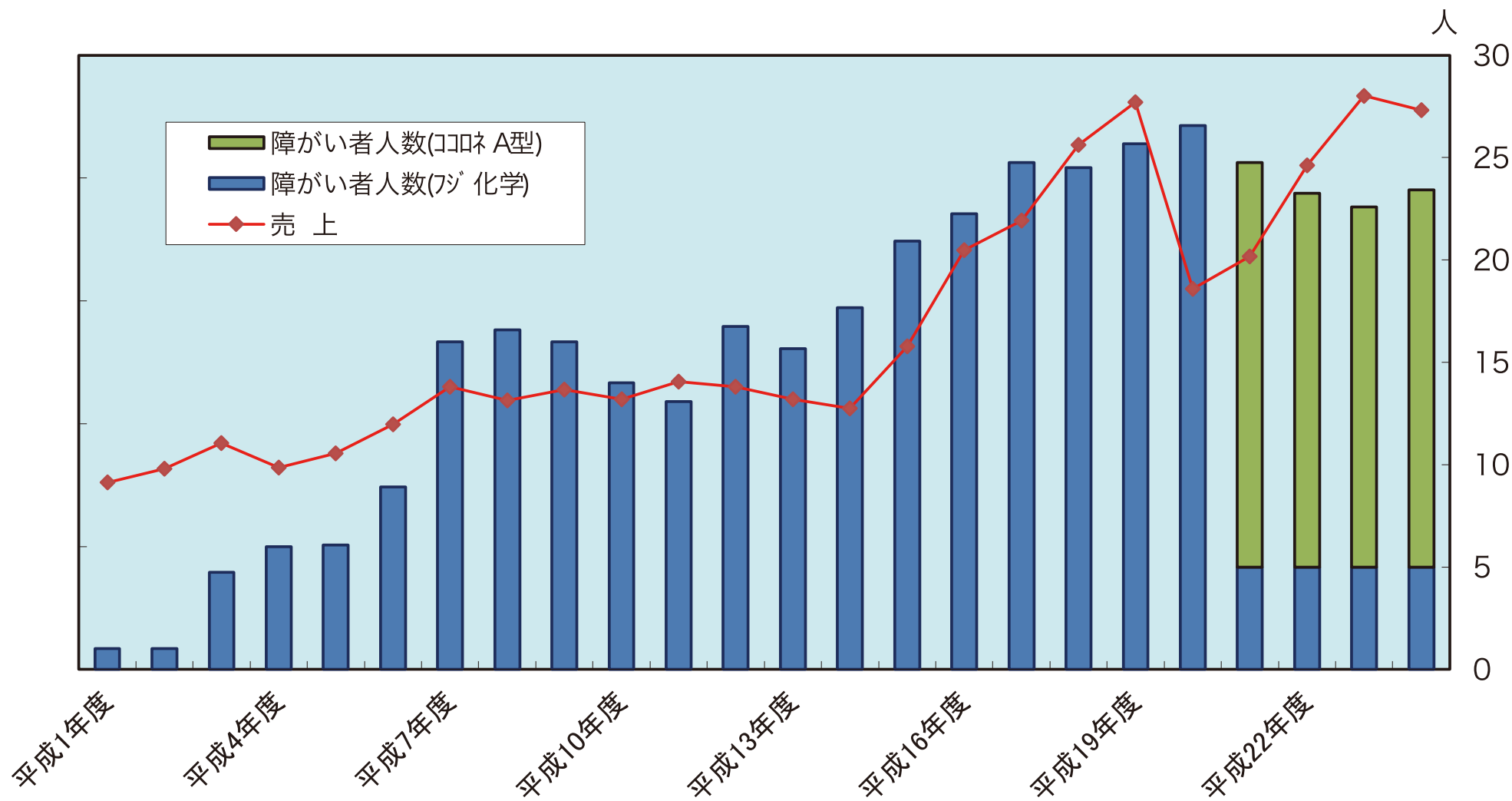
仕事を教えるほどに成長した。勤続24年



私たちはルーティンワークの プロフェッショナルです。

彼らは単純作業の繰り返しの中に喜びや、やり甲斐を感じ、曖昧さのないYES/NOオンリーの基準で、YESのみの完成度の高い仕事をします。貴社の製品の品質向上、信頼獲得に必ず役立ちます。さらに、素直で勤勉。仕事におしゃべりをしたり、ごまかしたり、サボったりすることはありません。社内の模範となることでしょう。

フジ化学の売上と障がい者人数



昭和50年代無借金経営



昭和60年心機一転工場建物の新築と機械設備投資



累積赤字



障害者の育成へシフト

リーマンショックによる業績悪化



数字経営よりも人経営



リーマンショック後4期連続の黒字へ転換

障害者の人たちに助けられた証

奇跡の職場 障がい者が戦力となって働き、収益をあげている。

仕事は適材適所が肝心

フジ化学ではまず最初に“適所”を見極め、その後“適材（人的資源）”の能力を限界まで引き上げるため、環境を整える。

作業を壁に例えると、手すり、はしご、ロープなど、その人にとって何があったら最もスムーズに壁を乗り越えられるかを考え、必要なツールを準備。一方的に与えるのではなく、手すりやはしごの使い方は誰にでもわかるよう、丁寧に説明し、完璧に理解してもらうようする。

NEST では、、

あらかじめそうしたツールのある、いくつかの壁を用意しておき、トレーニングを通して適所に繋げるという取り組みを行っている。

「悪いところ探し」ではなく、「良いところ探し」による発見が、大事な鍵

障がい者就労における課題とは、本人が乗り越えるものではなく、支援する側が発見するもので、長所を強化できる支援環境を作るとは、必ずやり遂げなくてはならないこと。

ココロネ誕生



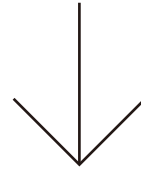
フジ化学にとっても一般企業としては障がい者雇用に限界
就労支援施設「ココロネ」が誕生。

一般企業から誕生した「ココロネ」の目的は「一般就労」

就労継続支援 A 型事業

就労移行支援事業

就労継続支援 B 型事業



NESTへ



就労継続 A 型事業から始まり、就労移行支援事業、就労継続
B 型事業、と事業拡大に伴い、「いつか、必ず、羽ばたく。」
をスローガンとし、利用者が力強く飛び立つ事を願い施設
名を「NEST」へと変更いたしました。

NESTの作業

Oリングの組み付け作業



プレス作業



検査作業



クリップ Assy



メッキのための吊るし掛け



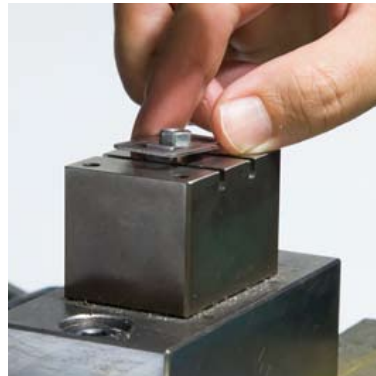
ウイルスブロッカー製造



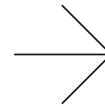


工夫ひとつで必ず伸びる。

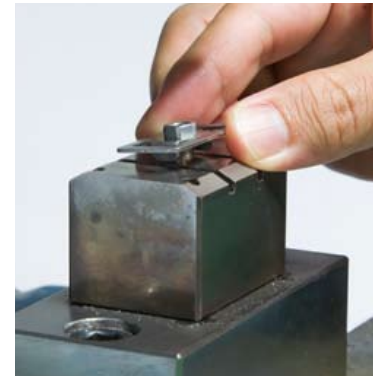
従来の金型



角に指があたりプレートが
取りにくかった。



改善後の金型



プレートが取りやすくなり
1時間の成果が2倍になった。

NEST の作業の一つ「プレス作業」。

健常者でも障がい者でも誰でもスムーズにプレートが取れるように「工夫」

1 時間に 300 個～400 個だったものが 700 個～800 個に

障がい者の仕事の成果は健常者の二割から三割程度でよしとされがち、

NEST では五割以上、もしくは十割まで持つて行く

サッカー



2009 年サッカー部を結成

最初はドリブルはもちろんスキップさえもできない状態。

すぐにスキップそしてドリブルが出来るようになった。

毎日コツコツとドリブルを自主的に練習し、瞬く間にサッカーの形に

練習を始めて四ヶ月で出場した大会で準優勝、続いて出場した大会で優勝

奇跡の職場と言われていたのは実は奇跡ではなく利用者には元々力があるんだという事が証明された。

彼らもさらに仕事にやりがいを感じ達成の喜びを知り、それが好循環を生んだ。

就労支援センター NEST 利用者状況早見表

2013.9.1現在

※B及び移行支援は判定未実施者多数

	利用者数	性別		年齢					居住地			障害種別						療育手帳		職業重度判定	通所方法					
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	富士宮市	富士市	その他	身体	精神	知的	発達	身体知的重複	高次脳機能	A	B		徒歩	自家用車	原付	自転車	公共交通機関	家族送迎
A	19	15	4	1	8	7	3	0	11	8	0	0	0	18	1	0	0	0	19	13	2	0	1	4	12	0
B	15	10	5	2	6	4	1	2	9	6	0	2	0	8	3	1	1	0	10	3	0	3	0	1	9	2
移行	16	14	2	7	4	2	3	0	7	9	0	1	2	8	5	0	0	0	10	0	0	2	0	6	8	0
NEST 総合計	50	39	11	10	18	13	7	2	27	23	0	3	2	34	9	1	1	0	39	16	2	5	1	11	29	2

就労支援センター NEST利用者就労状況

(平成22年5月～平成25年9月19日)

※累積3年4ヶ月

	就労先	就労者	6ヶ月以上 就労者	離職者
就労移行支援利用者	テルモ株式会社愛鷹工場	4名	3名	
	有限会社佐野鍍金	5名	3名	1名 ※1年11ヶ月 在職
	株式会社静岡セイコー	1名	1名	
	株式会社富士グリーンメンテナンス	2名	1名	
	株式会社エコネコル	1名	1名	
	株式会社 ユニクロ	1名	1名	
	キノクロス加工株式会社	1名	1名	
	サンカプセル株式会社	1名		1名 ※5ヶ月在職
	株式会社マルハン 中原店	1名		
	富士山ドリームビレッジ就労継続A型	1名	1名	
	ココロネ株式会社 就労継続支援A型事業所 就労支援センター NEST	2名	2名	
	小計	20名	14名	2名
就労継続B型利用者	株式会社ダスキン富士宮 蓼原支店	1名	1名	
	株式会社マルハン 中原店	1名		
	株式会社 平成福祉会 就労継続支援A型事業所 ARATA	1名	1名	
	株式会社エスサポート 就労継続支援A型事業所 みちしる	1名	1名	
	小計	4名	3名	
合計		24名	17名	2名

障がい者の周囲で当たり前のように繰り返されるセリフ

「障がいがあるから働く場所がない」

「働けないのは障がいのせい」

「障がい者だから仕事ができない」

「働く」とは、与えられた役割の中で、自分の役目を果たすこと。

「仕事」とは、与えられた役割そのものであり、自分の守備位置。

「職業」とは、与えられた役割を通して生活を営むための生業。

「職場」とは、自分に役割を与えてくれる場所。

自分に与えられた役割に一生懸命向き合っていると、周囲からも求められるようになり、それが自分の役目になります。役目を果たすことができた達成感自信は自信をもたらし、その結果ますます意欲が増し、生き甲斐を得られます。障がい者だけでなくすべての人にとって、仕事とはそういうものです。選ぶものではなく、「与えられた役割を大切にすること」なのです。

約 3 万種の職種

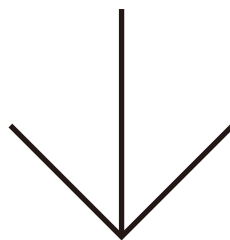
障がいがあろうとなかろうとニーズや能力に応じた仕事がある。

ジョブマッチング実現が困難

理想は高く、大企業指向。ハングリー精神を欠いた職業選択

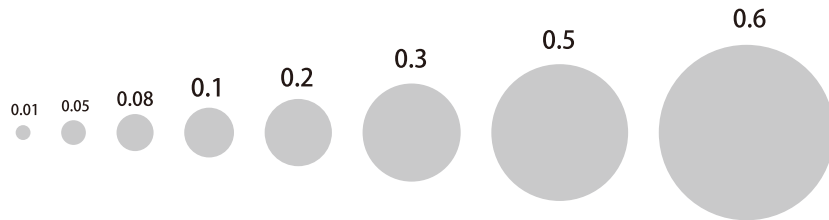
障がい者のハングリー精神の欠落

最初から「ムリだから」とスポーツや勉強、遊びの機会を制限されている。

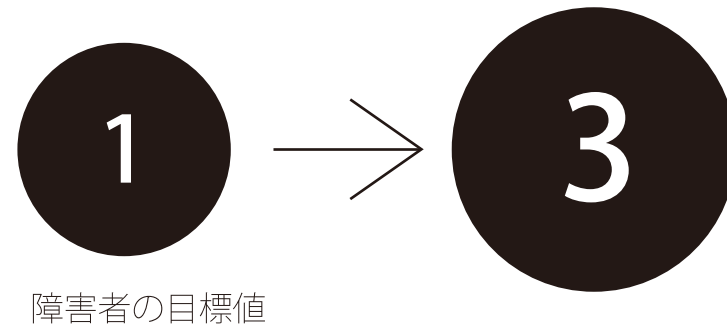
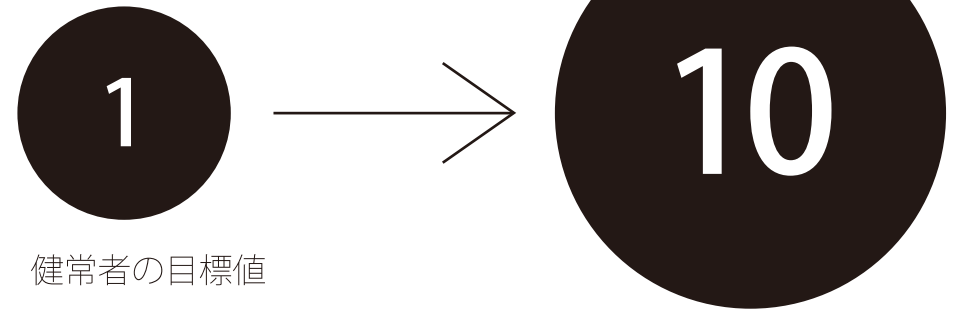


NESTでは低下した気力、体力を回復、復活させるためのプログラムを実施

施設職員の目標値



企業の目標値



企業が求める最低目標値を1とすると施設職員のそれは0.1～、職員によっては0.01～という差があります。さらに企業では健常者には目標値を10と設定し、障害者には3と設定します。もちろん目標値を越えて20や30を出す健常者、10や20に達する障害者もいます。このように企業側が障害者に求める数値と施設職員が設定する数値、または施設職員が想定する数値と障害者が実現する数値には大きな差があります。この意識の差が戦力を生む、生まないを分けています。

無理だと思われて来た目標値も決して無理ではありません。支援する側が工夫すれば無理と思われていたものも実現できます。

「やらせてください！」

「できるように頑張ります！」

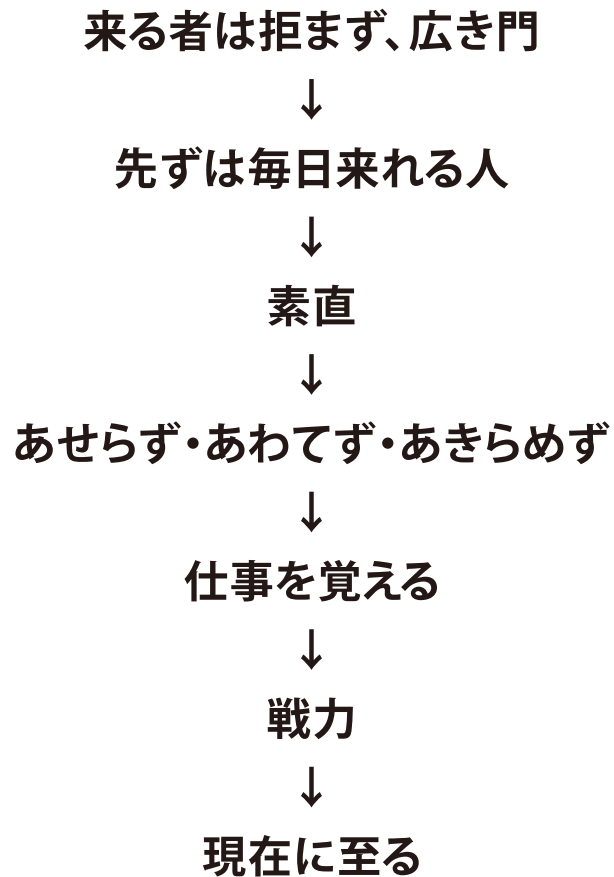
ハングリー精神をもって訓練に臨むようになる

これまで以上の集中力で物事に取り組み、

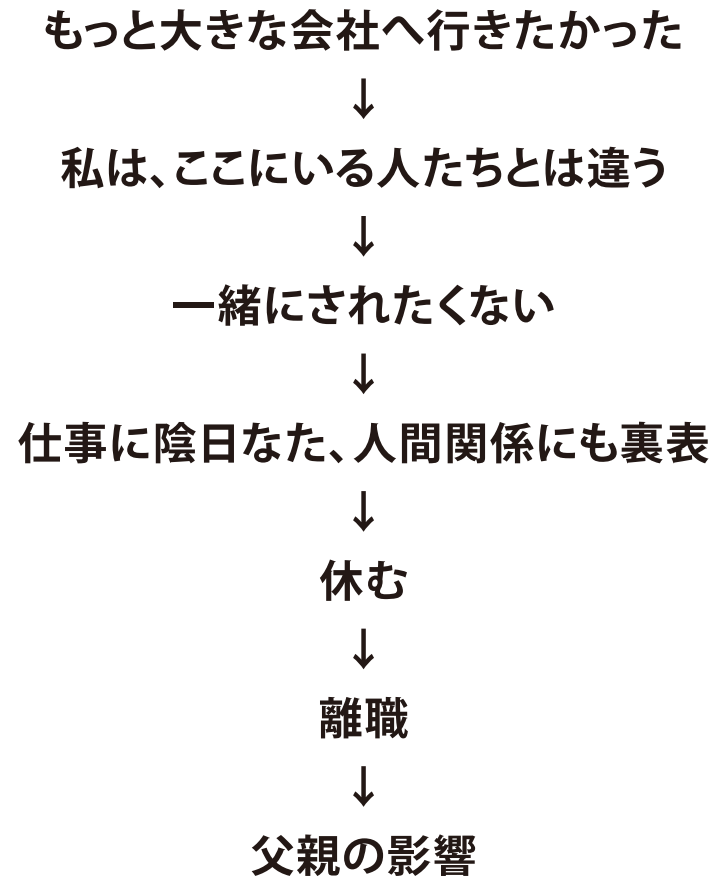
予想をはるかに上回ることをやり遂げるようになる

就労支援とは、ひとりひとりの多様性を尊重し、不得手な部分はクリアできるように、優れた部分はさらに輝くように応援していくこと。やる気のバロメーターがどんどん向上する、個性に合ったオーダーメイドのトレーニング方法を考案し、提供すること。

たいへんだなあと思ったひと



能力の高い人



結論とすれば重度の人だから働けないと
云う訳ではなく、素直さと切羽詰まった
断崖絶壁での決心(ハングリー精神)が、
就労へつながった